

年 組 名前：

忍野の名所 多言語音声で

住民団体ガイド制作「歴史知って」

忍野村の住民団体「おしのエイボンス」は、忍野八海など村内の観光名所を解説する多言語対応の音声ガイドを制作し、配信している。富士講信者の拠点となった村内の寺に伝わる史料などを基に構成していて、観光客らに村の歴史や文化について理解を深めてもらう内容となっている。

〈武田寛明〉



音声ガイドのチラシを持つ鷹野真実子代表（左）と宮下高明社長＝忍野・東円寺

音声ガイドは、観光地や美術館などの音声ガイドを配信するスマートフォンアプリ「Pokke」で昨年10月から提供していた鷹野真実子代表(53)ら公開。忍野八海を構成する八つの池のほか、村内の寺社などを実際に歩いているように解説している。日本語、英語、中国語、韓国語に対応し、ダウンロード(千円)するだけで場所を問わず聞くことができる。村観光協会の案内所などでチラシを配布している。

鷹野代表は、忍野八海が富士山世界文化遺産の構成資産となり、多くの外国人観光客が訪れるようになった一方、「成り立ちや、富士山信仰と深い関わりがある歴史を知る人が村内でも少なくなっている」と話す。音声ガイドは地域住民や観光ガイドにも聞いてもらいたいといい、「後世に伝承を残していきたい」と話している。

宮下社長は寺の史料を見たり、慈誠さんから歴史について聞き取ったりするなどして、必要な内容を収集。忍野八海の池ごとの名前の由来や各池で祭られている竜王、伝承されてきた和歌などを解説にまとめた。「重要なポイントを押さえ、正しい内容になるよう気を配った」と(宮下社長)という。

(2025年2月8日付 山梨日日新聞 19面)

問1

忍野村の住民団体が、音声ガイドを制作し配信している目的を教えてください。

.....

問2

音声ガイドは、日本語以外、何語に対応していますか。

.....

問3

配信では、忍野八海のどのようなことを、まとめましたか。

.....

問4

鷹野代表は、外国人観光客以外に、だれに聞いてもらいたいと話していますか。

.....